

**上田公民館は
休館しています**



令和6年度 コミュニティリーダー研修会を開催しました！

主催：盛岡市、盛岡市町内会連合会、玉山地域自治会連絡協議会、“世界につながるまち盛岡”市民会議



1月25日（土）、盛岡市中央公民館（愛宕町）を会場に令和6年度コミュニティリーダー研修会を開催しました。町内会・自治会の役員など31名が参加。当日は講演及び情報交換会を開催し、事例発表の部は1月17日（金）から3月31日（月）まで市公式YouTubeにて動画配信しました。

ここでは、講演、情報交換会及び事例発表の主な内容を紹介します。

講演 演題： 持続可能な町内会・自治会を考えよう～地域の人材発掘の観点から～



講師
株式会社KITABA
代表取締役
さけもと ひろし
酒本 宏 さん



↑講演資料はこちらから！

【講演内容】

1 町内会・自治会の課題

- ・孤独を抱えている若者の増加、ヤングケアラーの増加など地域コミュニティの課題は多様化し、複雑化しています。
- ・地域コミュニティを支える町内会・自治会が高齢化が進み担い手不足となっています。
- ・町内会・自治会の活動は若い世代向けのものが少なく、高齢者向けの活動がほとんどです。

2 ニーズに対応した地域コミュニティの運営

- ・自分の地域にはどの世代の人が多いのか、その世代はどのような活動を求めているのかを考え、活動の内容を見直すことが大事です。
- 若い世代は、マルシェなどのキッチンカーが集うイベント、インスタグラムでの情報発信を希望しています。

3 交流の機会とコミュニティの場づくり

- ・若い世代で孤独を感じている人の割合は急激に増えています。「コミュニティカフェがあればうれしい」などの声も聞かれます。
- ・気軽に立ち寄れるコミュニティの場づくりが必要です。

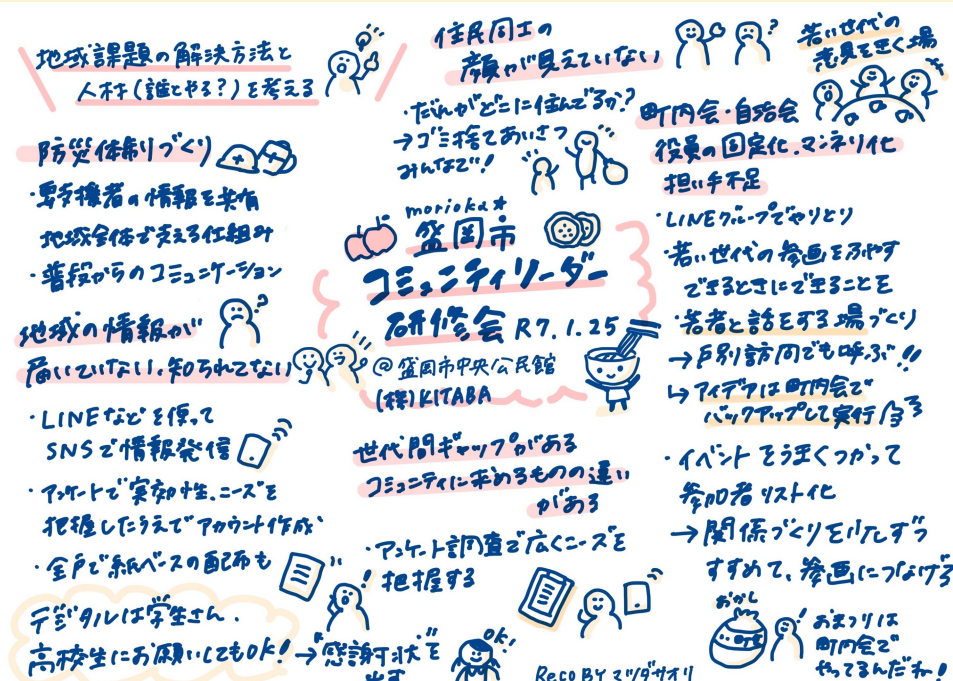
4 持続可能な地域コミュニティに向けて

- ・多様な組織と連携し、地域課題を解決する方策を考える必要があります。
- 例えば、大学生ボランティアや現役世代のサポーターに手伝ってもらい、NPO法人や企業等と連携するなど。

情報交換会 テーマ：地域課題の解決方法と人材（だれとやるか）を考える

参加者の住む地域が抱える様々な課題から議論するテーマを1つ選び、解決するためのアイデアなどについて話し合いました。

参加者から出た主な意見を紹介します。



作成 株式会社KITABA マネージャー 松田 沙織 さん

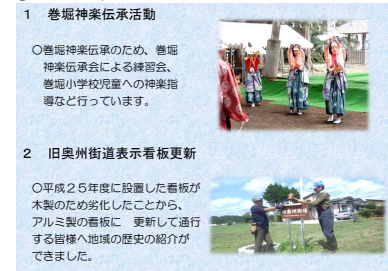
事例発表 動画配信期間 1月17日（金）～3月31日（月）

①巻堀姫神地区福祉推進会

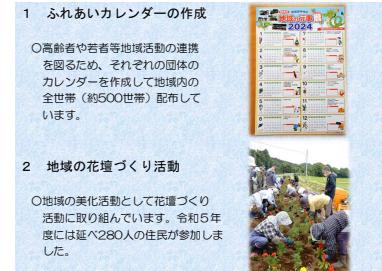
発表者：地域づくり部 工藤 昭視 さん

「ふれあいカレンダー」の作成や地域の伝統芸能である巻堀神楽の伝承活動など、4つの分野に分かれ、地域の魅力を発信する事業を各種行っています。

③歴史から学ぶまちづくり



②人と人がふれあうまちづくり



②下米内町内会

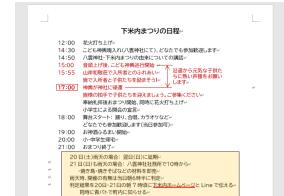
発表者：会長 松本 範雄 さん

令和4年6月から町内会のホームページの運用を開始し、行事等のお知らせや町内会だよりの掲載など様々な情報を地区内外に発信しています。

4. ホームページ現在の内容



催しものの開催・延期の連絡



③盛岡市中央公民館

発表者：主査 松本 広 さん

町内会・自治会等が講演会や学習会を開く際に、講師を派遣する「学びの循環推進事業『学びの輪』」を行っており、多くの町内会・自治会等が活用しています。

はじめに… こんなお悩み、ありませんか？

- ・講師を招いて勉強会や研修会をやってみたい！
- ・せっかくやるなら、実績ある先生にお願いして楽しく学びたい！
- ・そもそもどんなテーマで企画すればいいのかわからない。
- ・自分たちが学びたいテーマに、対応できる先生を知らない…。
- ・人気のある先生だと、講師謝金が高額では…？

「学びの輪」を構成する3つのコース

- 一般コース**
豊富な知識、優れた技能を持つ市民及び団体等を講師として指導者バンクに登録し、地域団体や市民団体の学習会に派遣するもの。
- 専門コース**
高度で専門的な学習要求に対応するために、大学などの高等教育機関との連携により、教員を講師として派遣するもの。
- まちづくりコース**
盛岡市の制度や事業に関する学習機会を提供するため、市職員（指定管理者も含む。）を講師として派遣するもの。